

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立大月小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年から英会話学習を実施することで、児童は英語を話してみたいという意欲をもち、EAA や ALT に話しかけたり、英語の歌を口ずさんだりすることで、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力が育まれる姿が見られた。
- ・デジタル教材を活用することによって、興味をもって英語を聴いたり見たりし、英語に慣れ親しんでいる。
- ・お昼の放送で6年児童が簡単な英会話を全校生に伝え、自信をもって英語を話したり、昇降口の曜日や天気等の掲示物を目にすることで日常的に英語に触れる機会をもっていた。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・学校評価では、90%以上の児童が英会話学習に概ね楽しく取り組んでいると回答した。
- ・ALTやEAAとのやりとりを行う中で、英語を話したり書いたりする楽しみながら取り組んでいた。
- ・ハロウィンやクリスマスなどの行事では、他国の文化に触れることで興味をもって学習に取り組み、英語や他の国々のことに目を向ける機会をもつことができた。

<保護者>

- ・第1学年からの英会話学習は、歌やゲームを取り入れながら英語に親しみ、英語によるコミュニケーション能力が身についているように感じる。
- ・外国の文化に触れることで、英語や他国の文化を身近に感じたり、日本との違いに気付いたりすることができている。

3. 実施の効果及び課題

- 英会話学習に第1学年から取り組んでいることで、英語に親しみ、楽しみながら活動に取り組もうとする様子が見られる。
- △英会話学習に苦手意識を持っている児童もいるので、英語に親しめるような教材の工夫を取り入れていく。

4. 課題の改善のための取組の方向性

低学年の英会話学習で慣れ親しんできた単語や英文等を繰り返し活用しながら、定着を図り、更に語彙が増えていくように意識させる。また、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力を高められるよう、自ら発する場面等を設定し、楽しみを感じながら活動に取り組めるような、教材や活動の工夫を取り入れていく。